

防衛省防衛大臣 岸 信夫様

申入書

2022年3月1日

ミャンマー連帯行動実行委員会

連絡先：改憲・戦争阻止！大行進
外登法・入管法と民族差別を撃つ全国実行委員会
(東京都港区新橋 2-8-16 石田ビル4階)

1) 昨年2月1日、ミャンマーでミンアウンフライン国軍総司令官のもと民主化と逆行する軍事クーデターが強行されました。日本政府は、このクーデターを弾劾することなく、政府開発援助（ODA）事業を継続しています。その結果、ミャンマー国軍に巨額の資金が流れています。その国軍によるミャンマー民衆虐殺が続いています。2月25日時点で1582人が殺され、9378人が拘束されています。少数民族地域での空爆、焼き討ちは、死者とともに40万人以上の避難民を生み出しています。

本日、闘うミャンマー民衆、とりわけ在日ミャンマー人と共に、防衛省・自衛隊に対し、ミャンマー国軍支援を直ちに中止することを要求します。

2) 防衛省の2022年度予算は、補正予算と合わせて6兆円を超える大軍拡予算となりました。岸田首相は国会答弁で、集団的自衛権として敵基地攻撃能力を行使する狙いを明確に語りました。この「敵基地攻撃能力」について岸防衛大臣は、自衛隊機が相手領空内に入り、軍事拠点を爆撃する選択肢を排除しないとの認識を示しています（2月16日、衆院予算委員会分科会）。一方で憲法審査会が毎週開催されるなど、岸田政権による「戦争のできる国」づくりに拍車がかかっています。そのなか2月24日、ロシア・プーチン政権によるウクライナ侵攻・軍事作戦が強行されました。核軍事大国・ロシアと米欧、さらにはアジア・中国をめぐる軍事的緊張が一気に高まっています。この機に乗じた岸田政権の核武装・軍事大国化の動き、とりわけ沖縄・南西諸島へのミサイル配備、軍事演習と基地強化の攻撃を絶対に許すわけにはいきません。アメリカと連動した岸田政権の中国侵略戦争策動を、労働者の国際連帯で阻止することをここに宣言します。

3) クーデター後も防衛省は、ミャンマー国軍の幹部や幹部候補生などを自衛隊の防衛大学校などに留学生（授業料免除、給付金提供）として受け入れ、戦闘や武器使用などの軍事訓練を含めたカリキュラムを提供しています。日本政府は国軍に資金を供与するばかりか、直接軍人らにミャンマー民衆を殺す訓練を施しているのです。絶対に許されることではありません。

2015年からこれまでに30人を受け入れ、現在10人が在籍しているとのことです。すでに帰国した20人が、現在までどこの部隊に配属されているのか、防衛省が把握している事実を明らかにしてください。たとえどの部隊に配属されたとしても、国軍クーデターに抵抗するミャンマー民衆への弾圧・虐殺の一端を担っているのであり、満腔の怒りをこめて弾劾します。

4) 現在、岸田政権・外務省・防衛省は、新年度の留学生の受け入れを検討しているとのことですが、さらに国軍から留学生を受け入れることなど、絶対に認められません。新たな受け入れをやめると共に、現在進行中のプログラムを即刻停止することを要求します。

5) さらに「日本・ミャンマー将官級交流プログラム」をはじめ、防衛省・自衛隊が関与する一切の国軍支援をただちに中止することを要求します。

6) 以上、在日ミャンマー人と共に日本で闘う労働者として要求します。

私たちは、日本国家・資本の利益のためにミャンマー民衆が苦しめられることを絶対に見過ごすことはできません。日本はかつての侵略戦争で中国・アジア・太平洋、ビルマ（当時）に侵攻し、2000万人もの犠牲を強いました。戦後から今日まで戦争責任を果たすことなく、今また改憲・戦争への道を進もうとしています。

ミャンマーが民主化へと踏み込んだ2013年、海上自衛隊の練習艦・護衛艦が「日の丸」を翻してヤンゴン港に寄港しました。14年に日本財団を介して始まった「日本・ミャンマー将官級交流プログラム」では、19年までの6年間で総額約1億円を使った自衛隊基地や演習見学、日本からミャンマーへの武術指導員の派遣などが行われています。安倍政権で閣議決定された「防衛装備移転三原則」（14年6月）に基づき、三菱重工はインドネシアに護衛艦を輸出しようとしており、ミャンマーとも武器輸出も視野に入れて軍事協力を進めています。

このように岸田政権は、中国侵略戦争に向けた重要な拠点としてミャンマーを位置づけています。今もなお国軍クーデターを非難せず、国軍支援を続けている岸田政権は、ミンアウンフライン国軍総司令官のもとでミャンマー民衆の抵抗を圧殺・鎮圧し、安定的な国軍支配を実現することを期待し、時間稼ぎをしているとしか見えません。これは、平和と民主主義を心から願い、クーデターと命がけで闘い続けているミャンマー民衆を踏みにじり、自ら虐殺に手を染める行為です。絶対に許せません。

7) 私たちは在日ミャンマー人と連帯し、岸田政権・防衛省による国軍支援をやめさせるまで闘いぬきます。